



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社  
 コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門管掌 (氏名) 山本 幸二

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,993	△11.2	635	14.7	686	19.6	386	20.0
23年3月期第2四半期	6,746	△19.2	554	△43.3	573	△36.9	321	△41.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	24.19	24.19
23年3月期第2四半期	20.15	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	19,188	9,220	48.0	577.52
23年3月期	19,130	8,925	46.7	559.05

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,215百万円 23年3月期 8,925百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△2.6	650	△3.3	700	2.4	400	37.7	25.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	16,000,000 株	23年3月期	16,000,000 株
24年3月期2Q	35,090 株	23年3月期	34,591 株
24年3月期2Q	15,965,124 株	23年3月期2Q	15,968,494 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の停滞を脱し回復の兆しが見え始めたところではありますが、世界経済の変調が一段の円高や震災復興計画の遅れ等とともに新たな不安要素として浮上しています。

世界経済におきましては、新興国のインフレ抑制策や米国の景気低迷に加えて、欧州の債務危機を背景としたグローバルな金融不安が増しており、信用収縮につながるリスクが高まる模様であります。

当社の関わる海運・造船業界におきましては、海外では依然として船腹過剰感は解消しないものの、コンテナ船やLNG運搬船、LPG運搬船等の荷動きは回復傾向にあり、また台湾向け漁船に一部引き合いも出てきております。国内におきましては、内航船輸送量の回復は遅れていますが、火力発電所向けの重油を運ぶ黒油タンカー船に引き合いが見られ、今後は震災復興関連の荷動き増加による船舶建造も注視すべきポイントになると思われま

す。このような企業環境のもと、当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高は短納期案件の獲得に注力いたしましたが、前年同期比9.5%減の4,622百万円となりました。売上高は主機関、部分品とも減少し同11.2%減の5,993百万円となりました。これにより受注残高は同28.4%減の5,757百万円となりました。

損益面につきましては、受注が伸びない中、購入品の内製化による操業度のアップや生産性の向上、コストダウンに全社を挙げて取り組んだ結果、営業利益は635百万円(前年同期比14.7%増)、経常利益は686百万円(同19.6%増)、四半期純利益は386百万円(同20.0%増)となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、輸出が減少し3,650百万円(前年同期比15.0%減)となりました。部分品・修理工事も輸出が低調で2,343百万円(同4.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は9,478百万円となり、前会計年度末に比べ408百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が207百万円減少したものの、製品が429百万円増加したこと、現金及び預金が151百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,710百万円となり、前会計年度末に比べ351百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が299百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、19,188百万円となり、前会計年度末に比べ57百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は5,237百万円となり、前会計年度末に比べ114百万円増加いたしました。これは主に前受金が402百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が495百万円増加したことによるものであります。固定負債は4,730百万円となり、前会計年度末に比べ351百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が221百万円減少したこと、役員退職慰労引当金が74百万円減少したこと、及び社債が70百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、9,968百万円となり、前会計年度末に比べ237百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は9,220百万円となり、前会計年度末に比べ294百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が338百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、売上高はほぼ計画通りに推移していることから、前回発表予想を変更しておりませんが、損益面につきましては、年度後半は主機関販売価格下落により採算が悪化する見込みであり、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、経常利益、当期純利益を修正しております。

平成24年3月期通期業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	650	600	330	20.67
今回修正予想(B)	12,000	650	700	400	25.05
増減額(B-A)	—	—	100	70	—
増減率(%)	—	—	16.7	21.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	12,322	671	683	290	18.19

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

① 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701,439	2,852,457
受取手形及び売掛金	3,395,430	3,368,756
有価証券	10,492	10,495
製品	477,474	907,326
仕掛品	1,407,803	1,200,605
原材料及び貯蔵品	964,648	1,020,577
その他	279,749	281,860
貸倒引当金	△167,800	△164,000
流動資産合計	9,069,237	9,478,079
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,368,610	1,338,669
構築物(純額)	250,494	235,194
機械及び装置(純額)	1,508,117	1,286,272
車両運搬具(純額)	7,403	6,253
工具、器具及び備品(純額)	133,824	103,977
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	2,052	782
有形固定資産合計	9,088,373	8,789,021
無形固定資産	43,110	39,065
投資その他の資産		
投資有価証券	559,012	476,796
その他	394,055	428,000
貸倒引当金	△22,800	△22,600
投資その他の資産合計	930,267	882,196
固定資産合計	10,061,751	9,710,284
資産合計	19,130,989	19,188,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,990,128	2,485,703
1年内返済予定の長期借入金	458,428	443,428
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	140,583	300,601
前受金	1,490,102	1,088,031
賞与引当金	151,000	148,000
製品保証引当金	10,100	27,300
その他	743,244	604,901
流動負債合計	5,123,586	5,237,965

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債		
社債	580,000	510,000
長期借入金	1,319,716	1,098,002
再評価に係る繰延税金負債	1,957,484	1,957,484
退職給付引当金	965,744	932,403
役員退職慰労引当金	74,800	—
その他	184,146	232,426
固定負債合計	5,081,891	4,730,317
負債合計	10,205,478	9,968,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	41,825	41,825
利益剰余金	5,106,268	5,444,581
自己株式	△9,724	△9,807
株主資本合計	5,938,370	6,276,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	126,789	78,113
土地再評価差額金	2,860,352	2,860,352
評価・換算差額等合計	2,987,141	2,938,465
新株予約権	—	5,016
純資産合計	8,925,511	9,220,081
負債純資産合計	19,130,989	19,188,364

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,746,877	5,993,645
売上原価	5,104,932	4,341,044
売上総利益	1,641,945	1,652,600
販売費及び一般管理費	1,087,815	1,017,267
営業利益	554,129	635,333
営業外収益		
受取利息	1,093	1,423
受取配当金	3,768	10,746
受取補償金	31,556	53,677
その他	9,796	7,821
営業外収益合計	46,215	73,669
営業外費用		
支払利息	21,752	16,669
その他	4,814	5,870
営業外費用合計	26,567	22,539
経常利益	573,777	686,462
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,021	—
製品保証引当金戻入額	2,700	—
特別利益合計	3,721	—
特別損失		
固定資産処分損	1,605	11,828
投資有価証券評価損	—	1,424
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,170	—
特別損失合計	13,775	13,253
税引前四半期純利益	563,723	673,209
法人税等	242,000	287,000
四半期純利益	321,723	386,209



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	563,723	673,209
減価償却費	405,521	328,680
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△3,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△48,524	△33,340
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,800	△74,800
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,700	△4,000
受取利息及び受取配当金	△4,862	△12,169
支払利息	21,752	16,669
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,424
固定資産処分損益(△は益)	1,605	11,828
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,170	—
売上債権の増減額(△は増加)	△587,952	△375,196
たな卸資産の増減額(△は増加)	626,178	△278,583
仕入債務の増減額(△は減少)	309,692	495,574
その他	293,193	△54,845
小計	1,591,397	691,450
利息及び配当金の受取額	8,781	16,621
利息の支払額	△20,858	△16,068
法人税等の支払額	△2,760	△129,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,576,560	562,799
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△1,000,000
定期預金の払戻による収入	—	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△99,438	△46,882
有形固定資産の売却による収入	3,592	—
無形固定資産の取得による支出	△250	△12,764
投資有価証券の取得による支出	△1,169	△1,195
その他	6,340	2,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△590,925	441,696
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△300,214	△236,714
社債の償還による支出	△70,000	△70,000
自己株式の取得による支出	△98	△82
配当金の支払額	△79,097	△46,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△449,410	△353,477
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	536,225	651,018
現金及び現金同等物の期首残高	1,467,218	1,651,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,003,444	2,302,457

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

(i) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成22. 4. 1 から 平成22. 9. 30 まで〕	〔平成23. 4. 1 から 平成23. 9. 30 まで〕	〔平成22. 4. 1 から 平成23. 3. 31 まで〕
受 注 高	主 機 関	2,659 (52.1%)	2,279 (49.3%)	5,357 (54.8%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	2,449 (47.9%)	2,343 (50.7%)	4,414 (45.2%)
	合 計	5,109 (100.0%)	4,622 (100.0%)	9,771 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	8,042 (100.0%)	5,757 (100.0%)	7,128 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	8,042 (100.0%)	5,757 (100.0%)	7,128 (100.0%)

(ii) 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成22. 4. 1 から 平成22. 9. 30 まで〕	〔平成23. 4. 1 から 平成23. 9. 30 まで〕	〔平成22. 4. 1 から 平成23. 3. 31 まで〕
主 機 関		4,296 (63.7%)	3,650 (60.9%)	7,907 (64.2%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		2,449 (36.3%)	2,343 (39.1%)	4,414 (35.8%)
合 計		6,746 (100.0%)	5,993 (100.0%)	12,322 (100.0%)
(うち輸出分)		(2,278) (33.8%)	(1,627) (27.2%)	(3,719) (30.2%)